

～ニーズとシーズをつなぐマッチングイベント～

2018年度 第2回 拡大版

りそな オープンイノベーション セミナー & 個別商談会



ニーズ/シーズ発表
大学・医療機関・企業

事業化のシーズを持つ大学およびオープンイノベーションに積極的な企業と共同で事業展開を進める絶好のチャンスです！

埼玉医科大学 / 埼玉大学 / 日本工業大学
日本ピストンリング(株) (東証一部上場)
匿名企業 (大手医療機器メーカー) / (株) 常光 (医療機器製造販売業)

開催日	2019年2月28日 (木) 13:00~15:50 (開場12:30)		
開催場所	埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店 3F ビジネスプラザさいたま さいたま市大宮区吉敷町4-262-16 (マルトビビル内) JRさいたま新都心駅 東口より徒歩3分		
定員	60名	参加費用	無 料

医療機関の臨床ニーズや医療機器メーカーの開発・技術・改良
ニーズおよび事業化に向けて企業と連携したい大学研究者の
シーズを直接聞くことができます。
セミナー参加企業は個別商談会へのエントリーも可能です！



まずは
セミナーに
参加！

メールで商談会
にエントリー！
4月上旬 締切

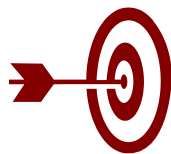
商談会で各社
にプレゼン！
4月下旬予定

主催：埼玉りそな銀行 共催：りそな銀行 関西アーバン銀行 近畿大阪銀行 みなと銀行
後援（予定）：関東経済産業局 埼玉県 日本医工ものづくりコモンズ



埼玉りそな銀行

有効期限 2019年6月末日



- ✓ 自社のものづくり技術を活かして医療機器分野に参入したい。
- ✓ 医療機関の臨床現場ニーズを聴きたい。
- ✓ 医療機器メーカーの開発ニーズに自社のソリューション技術を提案したい。
- ✓ 事業化のシーズを持つ大学の研究者と接点を持ちたい。

2019年2月28日(木)

りそな オープンイノベーションセミナー

定員60名
参加費無料

- ◆ 商談会に先立ち、事業化に向けて企業と連携したい大学のシーズおよび技術・アイデアを求めている医療機関の臨床現場ニーズの他、大手企業や医療機器メーカーが求める技術ニーズを具体的にご説明するセミナーを開催します。
- ◆ 併せて、事務局より「個別商談会」（2019年4月下旬以降に開催予定）への参加要領をご説明します。

【プログラム】(各セッション共通)

- Ⅰ オープンイノベーション取り組み状況
- Ⅱ 技術ニーズ・大学シーズのプレゼンテーション
- Ⅲ 質疑応答、「個別商談会」参加要領説明（事務局）

※セミナー会場の受付にて「秘密保持に関する申し合わせ」をご提出いただきます。

※技術ニーズ・探索ニーズなど情報の取り扱いについて
当セミナー資料に掲載されている情報の取り扱いにつきましては、
各医療機関・大学の機密に関わる情報も含まれている為、当セ
ミナー資料を取り扱う企業内に留めていただき、かつ細心の注意
を払っていただきますよう、宜しくお願いいたします。

※セッションの講師・内容などは変更となる場合もありますので、
ご了承願います。また、セミナー講師のご同業者等、ご参加いた
だけない場合は事務局よりご連絡させていただきます。

♣セッション① 13:05～

埼玉医科大学 RAセンター 産学官連携アドバイザー 客員講師 豊田 浩一氏

♣セッション② 14:00～

埼玉大学 理工学研究科 物質科学部門

教授 根本 直人氏 (研究分野:進化分子工学、分子生物物理学)

准教授 幡野 健氏 (研究分野:有機金属化学、有機ケイ素化学)

助教 松下 隆彦氏 (研究分野:合成化学、高分子化学、生物関連化学、分析化学)

♣セッション③ 14:40～

日本工業大学 基幹工学部 応用化学科 教授 佐野 健一氏

(研究分野:ナノバイオ工学、タンパク質工学、遺伝子工学、生体分子/無機材料相互作用)

♣セッション④ 15:00～

日本ピストンリング株式会社

技術企画部 技術企画グループ グループリーダー 藤村 和浩氏

♣セッション⑤ 15:20～

匿名企業 (大手医療機器メーカー)

♣セッション⑥ 15:35～

株式会社 常光 (医療機器製造販売業)

札幌研究開発室 課長 兼 医療機器・診断薬事業本部 営業サービス部

学術マーケティング課 課長 薬袋 博信氏

2019年4月上旬

個別商談会エントリー切

- ◆「オープンイノベーションセミナー」開催後、「個別商談会」への参加をご希望の方に『エントリーシート』を配付いたします。
- ◆提出期限までに、『エントリーシート』を事務局にご提出ください。
- ◆ご商談希望の企業（ニーズ企業およびシーズを持つ大学）が商談の可否を決定します。
- ◆事務局より、商談の可否並びに面談スケジュールなどをご連絡します。（2019年4月中旬）
- ※『エントリーシート』の内容等により、「個別商談会」に参加できない場合もありますので、予めご了承ください。

2019年4月下旬以降

個別商談会 開催

- ◆ニーズの詳細につきましては秘密保持契約を締結後に提示いたします。
- 『エントリーシート』をもとに、ご提案及び質疑応答を実施いただきます。

・・技術ニーズ・大学シーズの例・・今回募集するニーズ及びシーズと異なる場合もありますのでご了承願います。



No.	診療科	開発するデバイスの種類	デバイス開発の背景 (臨床現場の現状と問題点)
1	放射線科	血管撮影台	血管撮影室の検査台は、一定の高さより低くすることができず、患者は階段を利用して検査台へ移動する。 現在は介護者が2名以上で患者の移動を行っている。階段を登れない患者はスタッフが抱えて移動している。 階段を使用せずに検査台へ移動することができれば転落の危険がなくなる。
2	高度救命救急センター ICU	急患・急変時の看護記録	急患・急変時の看護記録は、リアルタイムに記載する事は困難で、メモを取るだけで精一杯なことが多い。その為メモと記憶を頼りに後追いで記載しているので、記録が不十分になることが少なくない。急患・急変時に話したことが記録として活用出来れば、記録の充実化、看護師の手間の減少につながる。
3	総合周産期母子医療センター 3階病棟	授乳用エアークッション	現在使用しているクッションは、カバー、クッション共に綿の素材となっている。カバーは1患者ごとに洗濯し感染の危険に配慮しながら使用している。しかし、クッション部分は洗濯ができないため、感染の危険がないとは云えない現状である。 そこで、クッション部分を1患者1個（入院中の5日間）使用できるようなディスポ製品ができると、安全面に配慮した医療提供ができると思う。
4	看護部	食事摂取量が評価できる画像解析システム	食事の摂取量は、主観に基づき1/2摂取、1/3摂取等記録しているが、主食、副食の別や栄養評価を考えると十分ではない。 画像で食材や調理方法、カロリーを判断し、摂取した量を正確に評価できるシステム（ソフト）があるとよい。
5	看護部	滑らない点字ブロック	点字ブロックは視覚障害者の歩行に必要であるが、雨天の場合は杖歩行者にとって杖が滑ってしまう。 視覚障害者の杖での音識別と歩行ルート案内に有効でかつ杖歩行者にも支障のない点字ブロックの材質、突起の形状等の改良を望む。
6	6階西病棟	術後の効果的なクーリング	肩関節患者の術後の創部のクーリングが、歩行時にもクーリングが必要だが、現在は、手作りの袋にマジックテープを付けて装具に貼り付けるようにしている。 手作りのため、統一感が無く美的にも難がある。



No.	診療科	開発するデバイスの種類	デバイス開発の背景 (臨床現場の現状と問題点)
7	6階西病棟	効果的なドレナージを実施する為に	消化管穿孔術後等は、洗浄ドレナージを実施しているためマルチドレーンを挿入することが多い。挿入部位や方向によってはドレーンが屈曲してしまい、効果的なドレナージが行えなくなる。屈曲すると考えられる箇所には屈曲防止のできるカバーが装着できれば、ドレーンが屈曲せず、効果的なドレナージが実施できる。
8	7階西病棟	着脱しやすい病衣	点滴投与中の患者が更衣を行う場合は、ADLが自立していても着脱には介護を要している。着脱の際は、一度輸液ライン接続を外して行うことが多いため、接続部から血液感染につながるリスクもある。 例えば、病衣の肩の部分をマジックテープにすることで、点滴投与中の患者で毛でなく、麻痺や拘縮のある患者もスムーズに更衣を行うことができる。接続部(点滴)を外す必要もないため、感染リスクも軽減できる。
9	5階西病棟	点滴の遮光ライン	化学療法(ダカルバジン等)投与時、点滴や点滴ラインを遮光する必要がある。現在点滴を覆う遮光袋はあるが、点滴ライン用の遮光袋は無く、アルミホイルを巻きつけて投与している。 点滴ライン自体を遮光できれば作業の効率化に繋がる。また、確実な遮光を行うことで、患者の化学療法による兼官痛のリスクを軽減できる。
10	3階西病棟	小児用インスピロン吹流しセット	小児は酸素投与にインスピロン等の加湿酸素を使うことが多い。 マスクを当てることを嫌がるため、ネット包帯で腹巻を作製して蛇管を通して口元に当てるように工夫しているが、ネット包帯自体が胸腹部を圧迫し呼吸を阻害している。また、すぐにボロボロになり、汚い。 小学生以上になると、ネット包帯自体に入らず、テープで固定しており、口元にしっかり当たらず見た目もよくない。



- 1. 理工学研究科 物質科学部門 助教 松下隆彦氏
- 2. 同研究科 同部門 准教授 幡野健氏
- 3. 同上 教授 根本直人氏

番号	技術シーズ名	技術シーズの概要	想定される事業化分野	大学が希望する連携企業
1	多価化合物によるクラスター化技術	クラスター型化合物の多点結合による飛躍的な活性向上	診断薬&キット、治療薬、検出薬、食品	診断薬開発やイムノクロマト・ELISAキット等の製造メーカー、治療薬・検出薬メーカー、食品メーカー
2	AIE(凝集誘起発光)技術	AIE化合物による高感度蛍光センシング⇒ウイルスの見える化、高感度迅速診断	蛍光標識、診断薬&キット、医療機器、環境測定、食品	診断薬開発やイムノクロマト・ELISAキット等の製造メーカー、蛍光検出や蛍光標識関連メーカー、環境測定メーカー、食品メーカー
3	次世代抗体スクリーニング技術	動物を使わず試験管内だけで次世代抗体をスクリーニング	創薬、診断薬&キット、食品	製薬メーカー、診断薬開発やイムノクロマト・ELISAキット等の製造メーカー、環境測定メーカー、食品メーカー

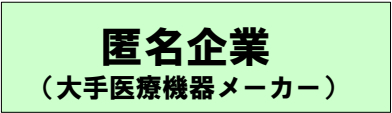
日本工業大学

基幹工学部 応用化学科 佐野 健一教授

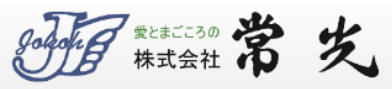
技術シーズ名	技術シーズの概要	想定される事業化分野	大学が希望する連携先
「材料科学と生物科学をつなぐタンパク質工学」	遺伝子組換え技術とタンパク質工学を使って、材料科学分野へ幅広く展開できる下地があります。具体的には以下の技術シーズを持っていますがこれらに限定されるものではありません。 1. 細胞内へのドラッグデリバリーシステム：細胞には細胞膜というバリアがあります。このバリアを突破する技術を持っています。現在、広く使われているCPPと呼ばれる材料に比べて桁違いの効率を誇ります。 2. 血液中にあるタンパク質を使ったフラッシュメモリ作製技術を持っています。この技術を応用して様々な産業分野への展開ができると考えています。 3. アルツハイマー病などのアミロイド病と呼ばれる一連の疾患の原因であるアミロイド線維に対して、有効な全く新しい技術シーズを持っています。	企業と行った主な共同研究。 1. 細胞内ドラッグデリバリーシステムを使った核酸医薬創薬。 2. 細胞内ドラッグデリバリーシステムを使ったウイルスを使わないiPS細胞他、細胞分化誘導技術開発。 3. 化粧品中に含まれるアレル源となる分子の簡便かつ再現性の高い検出法の開発や短時間で毛染めが可能となる技術開発といった美容関連の研究・技術開発。 4. タンパク質を使ったフラッシュメモリの作製。 5. 衛生素材(おしぼり)に残留する菌類の同定。 6. 遺伝子組換えタンパク質発現の高効率化。	細胞内へのドラッグデリバリーを行いたい企業さま。 生体分子を使ったデバイス開発をしたい企業さま。 化粧品、衛生材料を取扱っており、分析を必要としている企業さま。



番号	技術ニーズの概要
1	ニッケルフリー材料を用いた製品開発パートナー探索
2	金属射出成型部品の開発パートナーの探索



番号	技術ニーズの概要
1	ノンフタル酸対応のPVCカラーフィルム
2	セルロース(CAP)の成形



番号	技術ニーズの概要
1	有機溶剤対応の小型容器(100mL)程度
2	医療用検査分野要素技術

りそなオープンイノベーションセミナー 参加申込書

個人情報の取り扱いについて、私は「下記利用目的を確認、同意の上『オープンイノベーションセミナー』への参加を申込みます」

送付先FAX：048-601-3455 埼玉りそな銀行法人部ビジネスプラザさいたま

※「個別商談会」の申込みではありませんのでご注意ください

- 技術ニーズ・探索ニーズなど情報の取り扱いについて
当セミナー資料に掲載されている情報の取り扱いにつきましては、各企業・大学の機密に関わる情報も含まれているため、当セミナー資料を取り扱う企業さまの社内に留めていただき、かつ細心の注意を払っていただきますよう、宜しくお願いいたします。
- 個人情報の利用目的のご案内
本申込書に記載された個人情報は、本セミナー・商談会に係る連絡事項、主催・共催・講演企業からの各種セミナー・商品のご案内などに利用させていただきます。尚、利用目的の全文など各社の個人情報の取り扱いは、各社のホームページをご覧ください。

■ 貴社名 フリガナ	■ 所在地
	■ 業種 業
■ お取引店 ☐ 埼玉りそな銀行 ☐ りそな銀行 ☐ 関西アバン銀行 ☐ 近畿大阪銀行 ☐ みなと銀行 部・支店 ☐ その他 ()	■ 本セミナーに関するご連絡先 電話番号： () E-Mail : @ FAX 番号： ()

- セミナー参加者 ※1社あたり2名様までとさせていただきます。参加希望のセミナーに「レ」印をお願いします

参加者番号	お名前			部署・お役職		
1						
2						
参加者番号	① 13:05～14:00 埼玉医科大学	② 14:00～14:30 埼玉大学	③ 14:40～15:00 日本工業大学	④ 15:00～15:20 日本ビストンリング	⑤ 15:20～15:35 匿名企業	⑥ 15:35～15:50 常光
1	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	☐	☐	☐	☐	☐	☐

- ※ 定員に達した後のお申込みや、セミナー講師のご同業者等、ご参加いただけない場合は、事務局よりご連絡させていただきます。
- ※ 「個別商談会」のお申込みではございませんのでご注意ください。

会場のご案内



埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店3階 ビジネスプラザさいたま

さいたま市大宮区吉敷町4-262-16（マルキュービル内）
JR高崎線/宇都宮線/京浜東北線「さいたま新都心駅」より徒歩3分

※ 駐車場がございませんので、お越しの際は
公共交通機関をご利用ください。

「りそなオープンイノベーションセミナー」に関するお問い合わせ先

埼玉りそな銀行 法人部 ビジネスプラザさいたま 電話：048-851-3237 担当：河上